



TAKATSU NETWORK

医療法人 社団 亮正会 総合高津中央病院
川崎市高津区溝口1-16-7 TEL 044-822-6121
http://www.takatsuhosp.or.jp

新

高津中央病院だより

(財)日本医療機能評価機構認定病院

2017年◆春号(2017年4月発行)

Vol.57

季節の写真館 “新しい力”
29年度新入職員・看護師 32名



総合高津中央病院 理念・基本方針

理念

医療を通じて地域社会に貢献します

基本方針

1. 地域の皆様に愛される病院、親切、迅速、奉仕について最善の努力をします
1. たゆみない研鑽と医道の高揚に努め、安全で質の高い開かれた医療の提供をめざします
1. 地域の救急医療に全力で対応します
1. 保健、福祉の全面的な支援を行います

巻頭言

平成29年度 新年度のスタートにあたって

病院長 小林 進



今年度は上の写真でご覧頂けるように過去5年間で最も多い32名の高津看護専門学校を卒業した看護師さんが医療法人社団亮正会総合高津中央病院に入社致しました。総合高津中央病院にとっては大変心強いかぎりです。これらの新しい力をバックに総合高津中央病院は今年度も多くの事業に取り組みたいと考えております。一昨年に心臓血管センター設立後、24時間、365日心臓の緊急カテーテル検査・治療が出来る態勢を整えており、多くの患者さんを救命する事が出来ました。最近では救急車の搬入台数も増加しており、救急室の更なる体制づくりが急務となりました。救急室担当看護師の増員と共に受け入れ態勢を整備し、今年度は更なる効率的な救急室の運営を行いたいと考えております。

また、患者さんの高齢化に伴い、最近ではリハビリテーションの治療分野が以前とは比較にならないほど広範囲になりました。以前は整形外科領域の疾患に対するリハビリが主でしたが、最近では高齢者の転倒により発生する大腿骨頸部骨折症例等は早期に手術をし、出来るだけ

早くリハビリを行い受傷前の生活に戻すことで寝たきり老人にならず良好な成績を得ております。また、外科・循環器内科における高齢者手術前後の呼吸器リハビリ、運動リハビリや高齢者肺炎患者に対する呼吸器リハビリ、運動リハビリと共に食事接種に関係する嚥下リハビリ等、リハビリを必要とする患者さんの数および治療分野が増加し、広がっております。患者さんの安全性を考慮し、今まで地下1階に設置していたリハビリテーション部を本年3月に地下1階から1階フロアに移設しました。窓から自然光が入り、明るく、安全な良い環境でリハビリが行えるようになりました。

昨年3月に導入した電子カルテも導入直後は皆様に大変ご迷惑をお掛け致しましたが、最近では順調に稼働し、救急対応、画像診断、外来診療等、病院内の多くの場所で効率の良い診療が行えるようになりました。

これからも医療を通じて地域社会に貢献したいと考えておりますので今後ともよろしくごお願い申し上げます。

ドクター紹介



新任です!!
よろしくお願いします!!!

名前

谷合 智彦

卒業大学

東京慈恵会医科大学

卒業年度

平成27年

専門領域

一般外科

自己紹介

一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します。



名前

河合 延啓

卒業大学

帝京大学

卒業年度

平成25年

専門領域

小児科

自己紹介

皆様のお力をお借りしながら、頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



名前

谷 聡二

卒業大学

弘前大学

卒業年度

平成25年

専門領域

一般整形

自己紹介

よろしくお願い致します。何でもやりたいと思いますのでいつでも連絡下さい。



名前

杉山 奈津子

卒業大学

新潟大学

卒業年度

平成16年

専門領域

眼科・白内障

資格

眼科専門医

自己紹介

4月1日より高津中央病院へ赴任することになりました。手術は白内障や加齢黄斑変性などの疾患を中心に行っています。よろしくお願い致します。



リハビリテーション室
リニューアルで1号館1階へ移設

リハビリテーション部 主任(理学療法士) 佐野 千聖

平成29年2月13日、当院リハビリ室は地下から1号館1階に移設いたしました。移設後は入院棟やエントランスとの距離が近くなったことで、入院患者様および外来患者様にとって利用しやすくなりました。さらに、明るく開放的空間のリハビリ室は、ともすれば内向的になりやすい患者様の心を外に向け、在宅復帰への希望を感じていただけるような造りとなっています。

また、昨年は電子カルテを導入したことで、リハビリにおいても迅速かつ正確な治療法の選択が可能となり、提供する医療の質の向上につながっています。私達が提供するリハビリは障害を負われた患者様にできる限りの回復と、残された機能を使っての生活動作の再構築を目的としています。退院後は訪問リハビリや、外来でのリハビリを行い、ご自宅へ帰られたあとも患者様の身体機能の維持・回復をサポートします。

現在、リハビリ部は副院長・整形外科の吉村医師を筆頭に理学療法士6名・作業療法士1名・言語聴覚士1名・助手2名で診療を行っています。対象疾患は、骨折や脊椎術後、人工関節置換術後などの骨関節疾患、脊髄損傷、脳血管障害(脳出血・脳梗塞・くも膜下出血)とその後遺症による上肢や下肢の筋痙縮、言語障害、嚥下障害、高次脳機能障害、呼吸・循環器疾患、小児疾患と多岐にわたります。

昨今、高齢化社会を迎え、心・呼吸器疾患、神経・運動疾患など基礎疾患をお持ちの方が新たに脳卒中や骨折を併発することが多くなってきました。当院には、「医療を通じて地域社会に貢献します」という理念があります。入院や外来におけるリハビリの提供だけでなく訪問リハビリや、「糖尿病教室」での公開講座などを通して地域の健康サービスや医療水準の向上に少しでもお役に立ちたいと考えています。リハビリスタッフ一同、ここを新たに、地道に努力を続け更なる医療の質の向上に努めて参ります。今後とも、引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



高津中央インフォメーション

平成29年度新入職員研修会を終えて

人事部長 磯部 靖彦

桜がようやく咲き始めたころ、平成29年度新入職員研修会が4日間にわたり行われました。今年度の新入職員は全員看護職で33名、うち1名は助産師学校への進学です。



研修では、亮正会の事業所および病院の各部署の方々、また特養虹の里の方から業務内容について説明を受け亮正会への理解を深めました。また防災研修として高津消防署に訪問し、煙体験や消火器訓練などを行っていただきました。消防署の方々にはお忙しい中いろいろご指導いただき誠にありがとうございました。

さらに外部講師の方を招きビジネスマナー研修を受講したり、昨年入職した先輩たちに、1年間の経験の中で大変だったことやうれしかったことなどを話してもらいました。新入職員からは働き始める心構えができてきたとの声が聞かれました。

4月から新入職員がそれぞれ決意と不安を胸に新しい職場で頑



張っていることと思います。皆さまからも厳しくもあたたかいご指導、ご声援をいただきますようお願いいたします。

フロアアテンダント紹介

看護部師長 小川 康代

各科外来窓口の受付が、フロアアテンダントに生まれ変わりました。

新しいユニフォームで、患者さまの受付をさせていただいております。一人一人が、患者さまのお役にしたい、お世話がしたい、やりがいのある仕事がしたいと素直な気持ちのスタッフ達です。

患者さまのために一生懸命に取り組みますので、これからもよろしくお願いいたします。



看護部 トピックス

「平成29年度看護フェスティバル」 開催のお知らせ

平成3年よりスタート以来地域の皆さまから親しまれております「第25回看護フェスティバル」が下記のとおり開催されます。

【愛、希望、健康、思いやり】をメインテーマとして、薬剤師、看護師、臨床検査技師、管理栄養士など一同張り切って大勢の皆さまのお越しをお待ちしております。

なお、「防災」もテーマに加えておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

1. 開催日時 平成29年5月14日（日）10時～15時
2. 場所 総合高津中央病院 外来棟1階
3. 主な催し物
 - 各種測定：身長・体重・体脂肪率・血圧・血管年齢
 - 相談コーナー：栄養相談・くすり相談
 - 防災お役立ち情報
 - 心臓血管センターのご案内 10：30～
 - 呼吸筋トレーニング、「AED」の使い方 11：00～

看護フェスティバル

【日時】

2017.5.14(日)10:00～15:00

【場所】

総合高津中央病院 外来棟1階



- ★身長・体重・血圧測定
- ★血管年齢測定、体脂肪測定
- ★おくすり相談、栄養相談
- ★防災お役立ち情報
- ★心臓血管センターのご案内 10:30～
- ★呼吸筋トレーニング・AED 11:00～

【メインテーマ】

愛・希望・健康・思いやり

総合高津中央病院 看護部 代表 044(822)6121

問い合わせ

総合高津中央病院 看護部
044-822-6121

高津中央 トピックス

CE (Clinical Engineer) 部門の紹介

CE部 副部長 和田 明

我々CE部は臨床工学技士10人で構成されています。

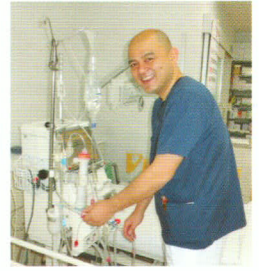
現代の医療は様々な医療機器に支えられ、より高度な医療を行えるようになりました。しかしながらその進歩の速度は目覚ましく、その時代に対応するためにその専門家が必要となり誕生したのが臨床工学技士です。臨床工学技士は主に呼吸・循環・代謝機能を代替・補助する機械の操作及び安全管理を行うほか、様々な医療機器のメンテナンスや点検など行っています。最近では心臓手術などで使用する人工心肺技士としてドラマなどにも登場して少しずつ認知度も上がって来ましたがまだまだ知らない人が多い専門職だと思います。

当院の臨床工学技士の業務は血管内治療業務、ペースメーカー業務、血液浄化業務、病棟・機器管理業務を24時間当直体制で行っています。



血液浄化業務、病棟・機器管理業務を24時間当直体制で行っています。血

管内治療業務ではカテーテル検査室内で医師の隣に立ちフィジシャンアシスタントとしての業務、緊急時に循環補助装置の操作、血管内超音波装置の操作、心電図の監視などを業務として行っています。ペースメーカー業務では植え込み時のペースメーカー内部のプログラム操作、定期外来でのチェックを行っております。



血液浄化業務では、透析機器の準備から患者さんへの接続、透析中の管理、終了時の処置、機械のメンテナンスを行うなど透析室で行われる業務のほとんどの業務を行います。また最近では閉塞性動脈硬化症の患者さんに対してLDLコレステロール除去療法を積極的に行っております。病棟・機器管理業務では人工呼吸が必要な患者さんが発生すれば人工呼吸器を持って患者さんの元へ行き、透析が必要になれば病棟にて透析をし、重篤な患者さんで補助循環装置が装着されれば安全に運用できるように定期的に点検を行い、輸液ポンプが故障すれば修理を行うなど医療機器に関するあらゆる業務を行っております。治療を行う上での縁の下の力持ち的な存在です。

これをお読みになってる皆さんとはなかなかお会いできる機会がないと思いますが、そういう職業もあるのだと覚えていただくと幸いです。

個人情報保護方針

情報社会において、個人情報の保護は非常に重要な課題です。

総合高津中央病院では、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

① 個人情報の収集・利用・提供

個人情報の保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集、利用および提供に関する内部規則を定め、これを遵守します。

② 個人情報の安全対策

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全の予防措置を講ずることにより、個人情報の安全性・正確性の確保を図り、万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

③ 個人情報に関する法令・規範の遵守

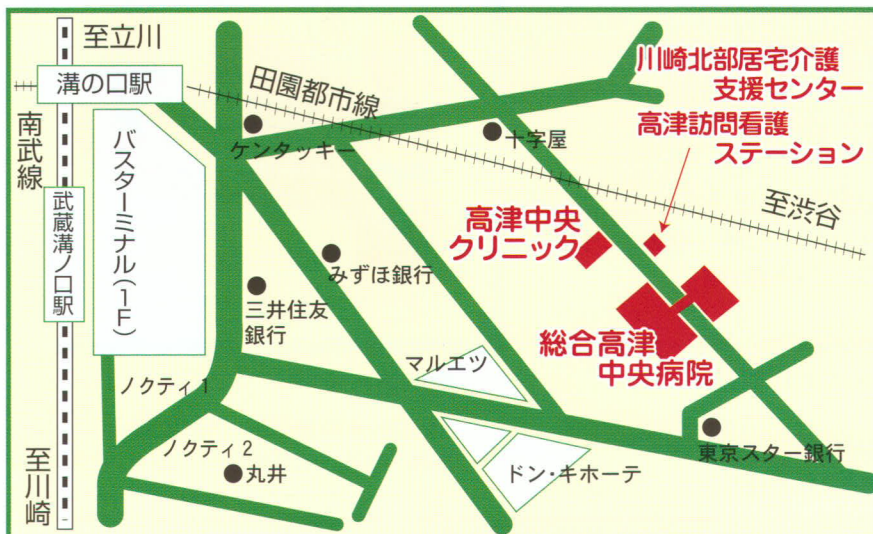
個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守します。

④ 教育および継続的改善

個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則を継続的に見直し、改善します。

⑤ 診療情報の提供・開示

診療情報の提供・開示に関しては、別に定めます。



▶ 総合高津中央病院

川崎市高津区溝口1-16-7
TEL (044) 822-6121 (代)
<http://www.takatsuhosp.or.jp>

▶ 高津中央クリニック (健診)

川崎市高津区溝口1-16-3
TEL (044) 822-1278 (代)
<http://www.takatsuhosp.or.jp/clinic/>

▶ 川崎北部居宅介護支援センター

川崎市高津区溝口1-17-5
TEL (044) 822-6159 (代)

▶ 高津訪問看護ステーション

川崎市高津区溝口1-17-1
TEL (044) 822-1287 (代)